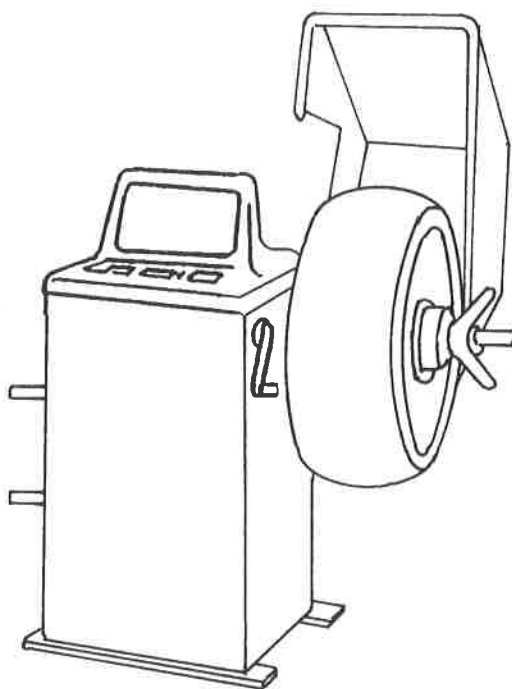


取扱説明書

COMPUTER WHEEL BALANCER

DYNAMAX

B3型



取扱説明書が現品と異なる場合は、販売会社までご請求下さい。



注 意

製品を使用する前に必ず取扱説明書をよく読み、充分理解してから使用して下さい。
この取扱説明書はいつでも使用出来るよう大切に保管してください。



小野谷機工株式会社

目 次

1. まえがき	1
2. 使用目的	1
3. 危険・警告・注意事項	2
(1)警告ラベルの貼り付け位置、内容	3
(2)危険、注意事項	5
(3)一般的な注意事項	6
(4)設置上の注意	6
4. 各部の名称	7
(1)本体部の名称	7
(2)操作部の名称	8
5. 操作手順	9
(1)ホイールの装着手順	10
(2)モードの切り替え	10
(3)  表示の INCH・cm について	10
(4)測定手順	10
(5)オプション部品取付時の操作方法	12
6. 標準付属品・特別付属品	13
7. 定期点検	14
(1)定期点検	14
(2)消耗品	14
8. 故障と処置	14
9. 仕様	15
10. 製品保証規定	16
(1)保証規定	16
(2)保証請求方法	16
(3)アフターサービスについて	17
(4)設置(据付)及び移設について	17

1. まえがき

この度は弊社の**ホイール balancer**をお買い上げ頂き誠にありがとうございます。
本機をご使用になる前に必ずこの取扱説明書を注意深く読みよく理解してからご使用ください。

取扱説明書に記載されている注意事項及び使用方法をよくご理解いただかないと、適正な本機
の能力を発揮できないばかりか、人身事故やタイヤ・ホイールの損傷につながりますので充分
なご理解のうえ正しくご使用ください。

また、取扱説明書・注意ステッカー等は大切にご使用して頂き万一紛失、汚損された場合は、速
やかに購入のうえ、正しく保管、貼付してください。

2. 使用目的

このホイール balancer は普通乗用車のホイールバランスを測定、修正することの出来るホイー
ル balancer です。

一部の車両用タイヤ・ホイールではオプションのアダプターが必要となる場合があります。

3. 危険・警告・注意事項



警告

この取扱説明書では「**危険**」「**警告**」「**注意**」について次のような定義と警告表示を使用しています。警告表示は、安全作業のために重要な事柄です。

人身事故や財物損害防止のため重要な事項が記載されていますので、必ずよく理解してからご使用してください。



危険

……取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合。



警告

……取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡、又は重傷を負う恐れが想定される場合。



注意

……取り扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合。

(1) 警告ラベル貼付位置・内容

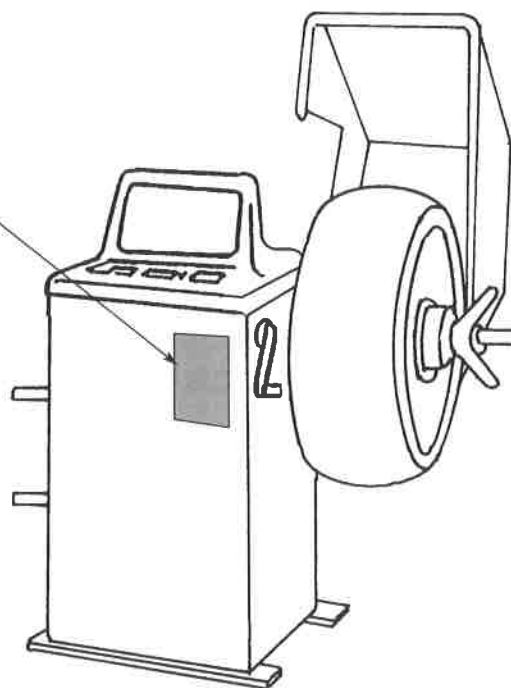


注 意

警告ラベルは大切に使用してください。万一紛失、汚損された場合は速やかに購入の上、正しく貼付してください。

警告ラベル貼付位置

警 告	
回転中のホイールに触れたり、手で止めようとしないうこと。 巻き込まれて怪我をすることがあります。	回転中はホイールガードを開けないこと 小石、ウエイトが飛んで怪我をすることがあります。
ホイールはゆるまないよう 確実に取り付けること。 回転中に飛び出す恐れがあります。	ホイールの正面に立たないこと。 小石、ウエイトが飛んで怪我をすることがあります。
取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること 誤操作により、思わぬ事故の可能性があります。	ここに示す警告事項は、ホイール/バランサーの取り扱い方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付して下さい。



警告ラベル内容

下記警告ラベルが本体に貼付されています。

 警 告	
 回転中のホイールに触れたり、手で止めようとしないこと。 巻き込まれて怪我をすることがあります。	 回転中はホイールガードを開けないこと 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
 ホイールはゆるまないよう確実に取り付けること。 回転中に飛び出す恐れがあります。	 ホイールの正面に立たないこと。 小石、ウェイトが飛んで怪我をすることがあります。
 取扱説明書をよく読み、理解した上で使用すること 誤操作により、思わぬ事故の可能性があります。	ここに示す警告事項は、ホイールバルンサーの取り扱い方法を誤った場合に、使用者が怪我を負う可能性が想定される事柄です。 警告ラベルは、はがれや汚損された場合、お買い上げの販売会社から購入の上、正しく貼付して下さい。

(2)危険・注意事項



注 意

- (1)操作に当たっては作業服、安全靴を身につけ安全な作業を行ってください。
- (2)回転中に振動や異常音、変形回転が発生したら、ホイールガードを開けずにSTOPスイッチを押し直ちに停止させてください。
- (3)センター軸が緩んでいるとホイールのセンターリングが不完全となり誤差の原因となります。時々確認してください。
- (4)ウェイトはしっかりと指定場所に取り付けてください。
- (5)タイヤについているゴミ、小石等はすべて取り除いてください。
- (6)スタートボタンを押す前に必ずホイールガードをセットしてください。
- (7)落雷時には電源を必ず切ってください。異常電圧の発生で本体内部の電子部品を壊す恐れがあります。
- (8)本機を清掃する場合は水洗いを絶対にしないでください。
- (9)本機を移動する場合は主軸をもって移動したり衝撃を主軸に与えないでください。



危 険

電気部品に触れる必要の場合は必ず元電源を切ってください。

元電源を入れたまま電気部品に触れる必要のある時には端子等、通電部品に絶対触れないようにしてください。

※死亡または重傷の可能性があります。



注 意

100V仕様のバルンサーを御使用の場合16インチ以上の重いタイヤのバランス測定、修正を行う時スタートスイッチを押してタイヤ・ホイールを回転させる前に手でタイヤ・ホイールを回してからスタートスイッチを押すことをおすすめします。

(お客様の給電状態によっては電源プレーカーが落ちる場合があります。)

また、お客様の100V電源の給電状態によっては、タイヤ・ホイールが回り始めの時蛍光灯などが一瞬、暗くなるときがある場合もありますが、故障ではありません。

(3)一般的な注意事項

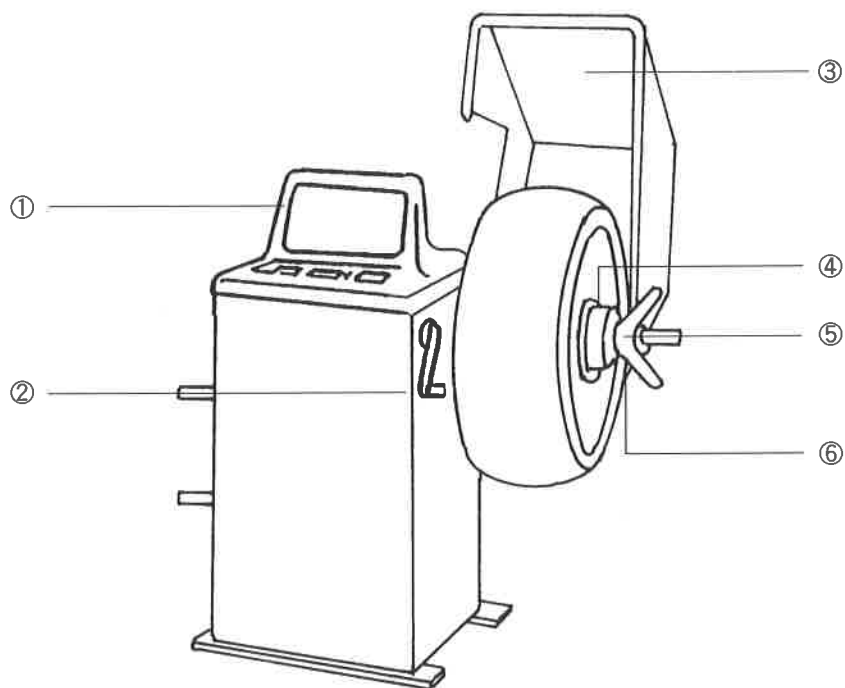
- ①取扱説明書をよく読みよく理解してから使用してください。
- ②このホイールバランサーは使用方法を熟知した人以外は使用しないでください。
- ③始業点検及び定期点検は取扱説明書の本文に従って必ず実施してください。
- ④運転時に異常な状態の時はホイールバランサーの使用を禁止して電源を切りお買上の販売店に連絡してください。
- ⑤本機は防水仕様になっていませんので屋外設置や水による洗浄は避けてください。
- ⑥このホイールバランサーはタイヤ・ホイールのバランス測定以外には使用しないでください。

(4)設置上の注意

- ①本機の据え付けは平坦なコンクリート上に標準付属品のアンカーボルト4本でしっかりと固定して使用してください。アンカーボルトでの固定を怠ると本機の転倒防止としては勿論のこと、タイヤのアンバランス以外の振動をキャッチすることになり正確な測定結果が得られません。
- ②本機内部には多くの電気部品を使用しており、水気は故障の原因となります。
本機の設置場所は下記のところは絶対に避けてください。
 - ・雨水のかかる場所
 - ・水をよく使い湿気の多い場所
 - ・特にほこりの多い場所
 - ・直射日光のあたる場所
 - ・振動の多い場所
- ③本機を移動する場合は主軸をもって移動したり衝撃を主軸に与えないでください。
- ④設置の際に感電事故の防止のために必ずアース設置を施してください。
尚ガス管などの爆発の危険があるものには絶対に接続しないでください。
- ⑤電源の配線工事は必ず内線工事事有資格店にご依頼ください。
電源は本機の近くに必ず 0.75kW(100V, 200V)以上の専用ブレーカを設置してそこから配線してください。
又本機の回転方向はウエイトカバーの矢印方向にしてください。

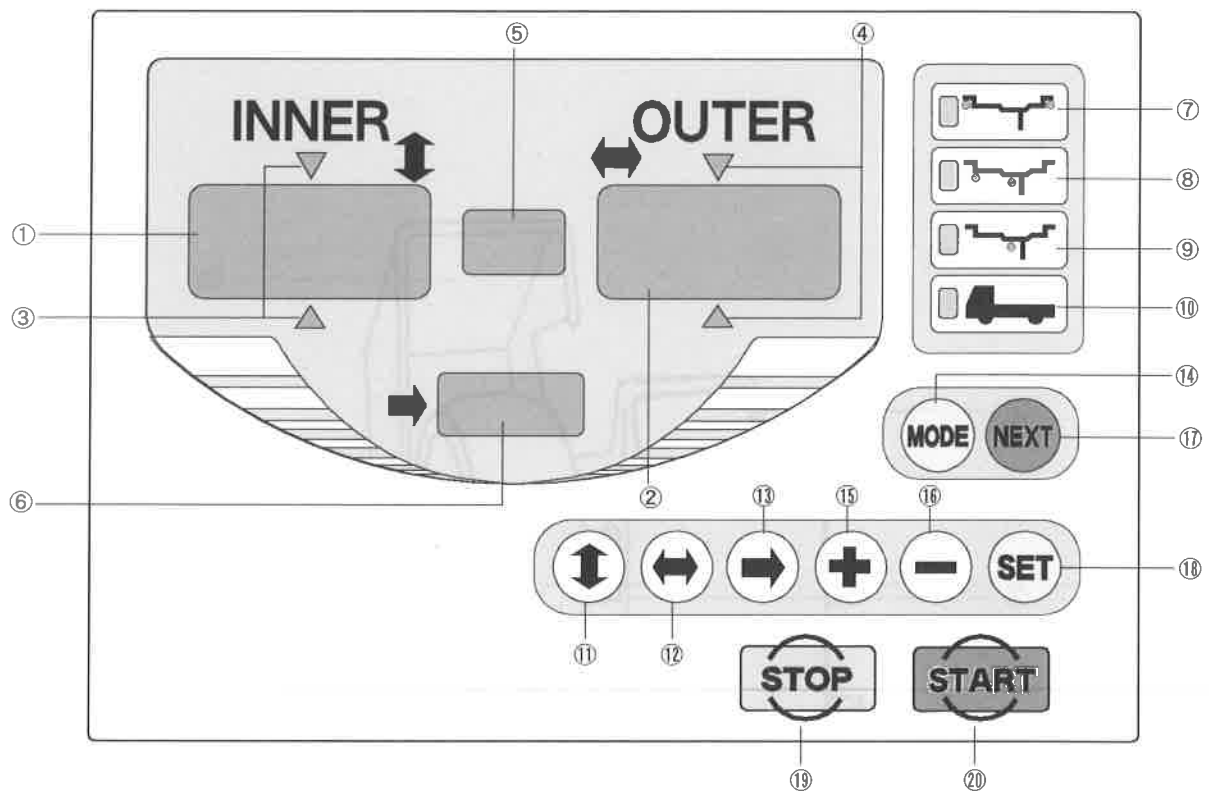
4. 各部の名称

(1) 本体部の名称



- ①操作部
- ②ディスタンススケール
- ③ホイールガード
- ④カップ
- ⑤センター軸
- ⑥ウイングナット

(2) 操作部の名称



- ① イン側グラム表示、リム径表示
- ② アウト側グラム表示、リム幅表示
- ③ イン側ポジション表示
- ④ アウト側ポジション表示
- ⑤ O K 表示
- ⑥ ディスタンス表示
- ⑦ 両面打ち込みモード
- ⑧ 貼り付けモード
- ⑨ スタチックモード
- ⑩ ライトトラックモード

- ⑪ リム径入力スイッチ
- ⑫ リム幅入力スイッチ
- ⑬ ディスタンス入力スイッチ
- ⑭ 測定モード切り替えスイッチ
- ⑮ アップスイッチ
- ⑯ ダウンスイッチ
- ⑰ ネクストスイッチ
- ⑱ セットスイッチ
- ⑲ ストップスイッチ
- ⑳ スタートスイッチ

5. 操作手順

(1) ホイール装着手順



注 意

測定ホイールはいずれの場合も、古いバランスウエイト、タイヤの溝にはさまっている小石や異物を全て取り除いてください。

ハメ合い部とあたり面はゴミ・砂などが付着していないことを確認したあと、次のように正しく取り付けてください。

(A) バックコーンを使用する場合

① バックコーンとして使用する場合

図のようにセンター軸にバックスプリングと、ホイールのハブ穴に合ったコーンを入れ、ホイールをコーンの上にのせます。次にホイールカップとカラーを用いてウイングナットでホイールを締め付けます。

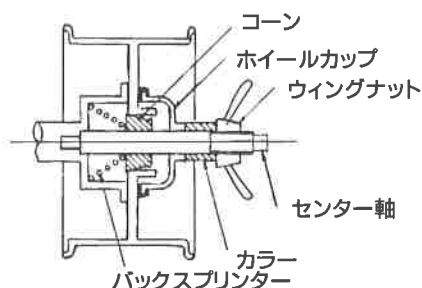
この時、図のようにコーンが奥まで入り込むような場合はバックスプリングとコーンの間へ、一番短いカラーを入れて使用してください。(バネの収縮が少ないので、カラーを入れて収縮を大きくして、コーンによるセンター出しを正確にする。)

【注】コーン3Lはバックコーンとしては使用できません。

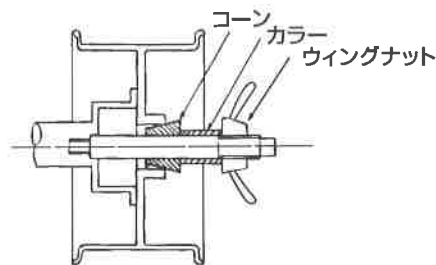
② フロントコーンとして使用する場合

図のようにハブ穴に適合したコーンと、カラーを用いてウイングナットで締め付けます。

① バックコーンとして使用する場合



② フロントコーンとして使用する場合



(B) フランジアダプター使用の場合

セットスタンド上にフランジアダプターを置き、ホイールをその上へのせ、ボルトの穴を合わせます。次にボルトでホイールをアダプターに固定し、アダプターをコーンとクイックナットで確実に固定してください。バランス修正が終わったならば、再びセットスタンドの上へ戻し、ボルトをゆるめます。

(2)モード切り替え

MODE ボタンを押すと①—②—③—④—①の順にモードが選択されます。

- ①  画面打ち込み
- ②  イン側打ち込み OR イン側貼付け・アウト側貼付け
- ③  スタチックモード
- ④  ライトトラックモード

(3) 表示の INCH・Cm について

この機種は、**INCH・Cm** の表示がありませんので、下記のことにご注意ください。

自動入力の場合は  は **Cm** 表示です

手動入力の場合は  は全てのモードで **INCH** 表示です

 は各モードによって次のようになります。

- INCH 表示
- Cm 表示
- 表示無し
- INCH 表示

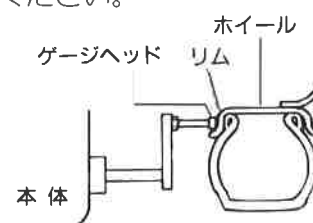
(4)測定手順

1. ディスタンス(出寸法)・直径の測定

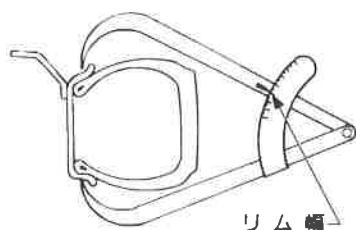
ゲージヘッドを図のようにリムに当てるだけで、ピーという音と共に入力されます。なお、ゲージヘッドがリムに当たらない場合でも、動きが停止するとセットされてしまいますので、このような場合はもう一度ゲージを戻してから再度セットしてください。

(約1秒間停止していとセットされます)

ディスタンスゲージがセットされたら、ゲージを確実に元に戻してください。(戻らない場合は **IN** 側に **E-E** と表示してスタートしません)



2. リム幅の設定



スイッチを押し

スイッチを1回押すごとにリム幅表示が0.5単位で増加します。 スイッチを1回押すごとに0.5単位で減少します。

入力したいリム幅が表示されたら(たとえば5Jでしたら **050** となります) **SET** スイッチを押してください。

3. リム径の設定(手動入力の場合)

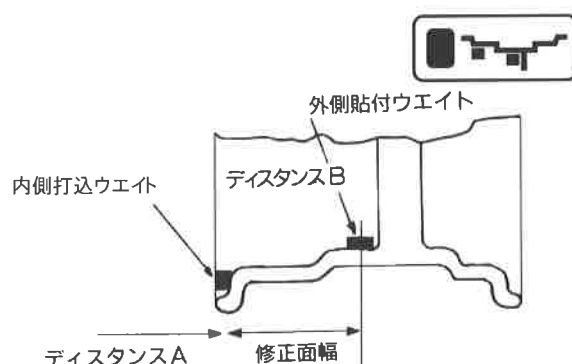
スイッチを押し スイッチを1回押すごとにリム径表示が0.5単位で増加します。

スイッチを1回押すごとに0.5単位で減少します。

入力したいリム径が表示されたら(たとえば13インチでしたら **130** となります) **SET** スイッチを押してください。

4. アルミホイールの貼付けの場合

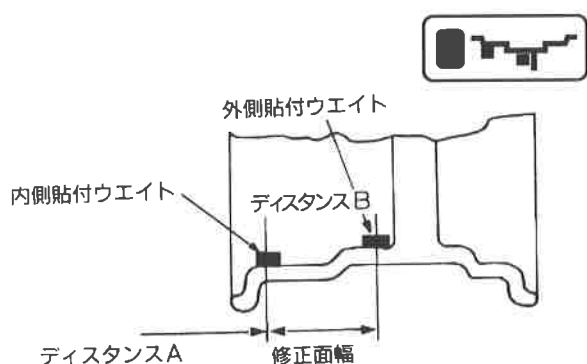
【例1】 例1の場合(内側打ち込み、外側貼付け)



モードを選択してください。例1の修正面幅間を定規で測定して、その幅の表示になるまで スイッチを押して、 または スイッチを押してください。

たとえば12cmならば スイッチを押し、 または スイッチでリム幅表示が **120** になったら、**SET** スイッチを押してください。

【例2】 例2の場合(内側貼付け、外側貼付け)



モードを選択して修正面幅を定規で測定し、その幅の表示になるまで スイッチを押し、 または スイッチを押して入力してください。

たとえば10.5cmならば スイッチを押し または スイッチで、リム幅表示が **105** になったら、**SET** スイッチを押して入力してください。

5. 測定

スタートボタンを軽く2度押します。

タイヤが回転して約8秒でアンバランス量とポジションが表示され、自動停止します。次に自動的にOUT側のアンバランスポイントにゆっくりと移動し、ブレーキがかかり停止します。**NEXT** スイッチを押せば、IN側のアンバランスポイントに自動的に移動し、ブレーキがかかり停止します。再度 **NEXT** スイッチを押せば、OUT側のアンバランスポイントに自

動的に移動し、ブレーキがかかり停止します。

ブレーキがかかりロックする時間は、測定後20秒間ロックがかかります。

6. ウェイトの取り付け

アンバランスポイントにウェイトを取り付けます。

7. 修正結果の確認

ウェイト取り付け作業が終了した後、再度スタートボタンを押しチェックします。

バランス修正がOKならばOKと表示されます。1度でOKしない場合は表示に従ってウェイト取り付けを再度行ってください。

8. 再演算機能

ホイールデータを間違えて入力して測定した場合、再度タイヤを回して測定しなくても再演算機能を使えば正しいグラム、位相を求める事が出来ます。正しいホイールデータを入力してスイッチを押しスイッチを押せばコンピューターが計算して正しいグラム、位相表示に変えます。

9. 表示の切り替え

イングラム表示とリム径表示が兼用になっていますので注意してください。

リム幅表示の状態ではスイッチを押しスイッチを押すとグラム表示に変わります。また、測定をしないとかならずグラム表示になります。グラム表示の時スイッチを押すとリム径表示になります。

10. ロック解除の方法

スイッチを押しスイッチを押すと、ロックは解除されます。

(注意) スイッチを押した後、スイッチを押すとロックは解除されません。

11. FINE モード

スイッチを押すと、ディスタンス表示がLLLと表示され、スイッチを押すと、元のディスタンス表示に替わり、5 g 単位表示から1 g 単位表示に替わります。1 g 単位表示の時は5 g 単位表示に替わります。

5. オプション部品取付時の操作方法

LT.MCタイヤの測定法

アダプターの使用法は、アダプターに付属の取扱説明書をお読みください。

LTタイヤの場合



モードを左に選択して測定してください。

MCタイヤ及びスタチックアンバランス測定の場合は



モードを左に選択して測定してください。

6. 標準付属品・特別付属品

●標準付属品

- ①コーンS.M.L.L L.3 L
- ②カップ
- ③バックスプリング
- ④カラーC 1. C 2. C 3
- ⑤ウイングナット
- ⑥センター軸
- ⑦タイヤパス
- ⑧ウエイトプライヤー
- ⑨アンカーボルト
- ⑩センター軸締め付けボルト(3本)
- ⑪締め付けレンチ
- ⑫打ち込みウエイト
- ⑬貼り付けウエイト
- ⑭取扱説明書
- ⑮保証書

●特別付属品

- A. フランジアアダプターセット
- ①5穴フランジアアダプター
- ②3. 4穴フランジアアダプター
- ③フランジボルト
- ④セットスタンド
- ⑤L Tアダプター
- ⑥4 L スペーサー
- ⑦4 L コーン
- ⑧ホイールガード

7. 定期点検

(1) 定期点検

期 間	点 検 箇 所	点 検 項 目	点 検 要 領
期間 3ヶ月毎	先端軸	緩み	増し締めをする

(2) 消耗品

次の部品は使用頻度(損傷・摩耗状態)により新品と交換してください。

品 名	部 品 番 号	販 売 単 位	備 考
カップのゴム		1	1 / 1 台
ベルト5M-2-1250		1	1 / 1 台

8. 故障と処置

故障かなと思われる前に、もう一度確認してください。

異常が生じた時は、この取扱説明書をよくお読み頂き、下記の点検をした上で、それでも不都合がある場合は弊社、もしくはお買上げ販売店に御相談ください。

症 状	原 因	処 置
電源が入らない	お客様のブレーカのヒューズが切れている	ヒューズを交換する
電源が入るけれどもホイールが回転しない	お客様のブレーカのヒューズのうち1本が切れている	ヒューズを交換する
他のホイールのバランスは修正出来るけれどもそのホイールだけが修正出来ない	タイヤの中に異物、水などが入っている	異物、水などを取り除く

その他の症状について

(1) バランスの修正ミス(イン・アウトの修正位置が逆になっているとか修正位置が間違っていないか)

(2) 1回でOKしない場合

アンバランス量が大きい場合(50gを越えるような場合)

若干の測定誤差とウエイト量の誤差、及びウエイトの打ち込み位置のそれぞれによって1回でOKしない場合が出てきます。故障ではありません。

9.仕様

型 式	標準型	特殊型
電 源	200V3相	
モ ー タ ー	0.4kW	0.4kW防爆
回 転 速 度	約280 rpm(50Hz) 約330 rpm(60Hz)	
測 定 方 式	ハードタイプ両面同時測定	
適用ホイール径	10"~24"	
適用ホイール幅	2"~15"	
測 定 重 量	最大75kg	
測 定 範 囲 g	0~500 g	
本 体 重 量	145kg	150kg

10.製品保証規定

(1)保証規定

取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書に従って正常な使用状態で保証期間内(納入後1年以内)に故障した場合は、弊社の責任に於いて無償にて欠陥部品の手直し、修理、取り替え、交換部品の送付をさせていただきます。

但し二次的に発生する損失の保証及び、次の場合に該当する故障は保証いたしません。

- ①使用上の誤り、保守点検、保管等の義務を怠ったために発生した故障及び損傷。
- ②商品の作動機構に悪影響を及ぼす変更(改造)を加え、それが原因で発生した故障及び損傷。
- ③消耗品が損傷し取り替えを要する場合。
- ④火災、地震、風水害、落雷、その他天災地変等、外部に要因がある故障及び損傷。
- ⑤指定された純正部品をご使用されなかったことに起因する場合。
- ⑥日本国以外でご使用の場合。
- ⑦保証手続きが不備の場合(例：型式及び機体番号の連絡が無い場合等)。
- ⑧設置に原因がある故障及び損傷。



注 意

**このホイールバランスは屋外設置及び防水使用にはなっておりませんので、
錆、腐食、漏電等の水による故障は保証いたしておりません。**

(2)保証請求方法

上記規定に基づき、本製品の保証請求を行う場合は、お買上の販売会社にご一報ください。必要な手続きを実施いたします。

尚、保証の要否は大変勝手ながら弊社に於いて判断させていただきますのでご了承ください。

(3)アフターサービスについて

調子の悪いとき	この取扱説明書の8項の故障と処置欄をご覧ください。
それでも調子の悪いときは	商品保証規定に従い修理をさせていただきますので、お買上販売会社へ修理を依頼してください。
保証期間中の修理について	保証期間は納入後12ヶ月以内です。商品保証規定の記載内容に基づいて修理させていただきます。
保証期間後の修理について	お買上販売会社にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合はお客様のご要望によって有料修理いたします。
アフターサービスについての詳細、その他ご不明な点はお買上販売会社にお問い合わせください。	
お問い合わせいただく際は、次のことをお知らせください。型式・機体番号・購入年月日・故障状況(できるだけ詳しく)。	

上記の事項を下表に記録しておくとお問い合わせの時便利です。

型 式	
機 体 番 号	
購 入 年 月 日	年 月 日
販 売 会 社	社 名 担当者
	住 所 電 話
設 置 業 者	社 名 担当者
	住 所 電 話
故 障 日 ・ 状 況	年 月 日
	年 月 日

(4)設置(据付)及び移設について

本製品の設置(据付)及び移設は、お買上の販売会社へ依頼してください。

移設の場合は販売会社による点検を実施してください。

取扱説明書

品 名 コンピュータ ホイール balans ー

型 式 **DYNAMAX B3型**

初 版 発 行 月 日

平 成 14 年 8 月 1 日

改 訂 発 行 月 日

平 成 年 月 日

改 訂 発 行 月 日

平 成 年 月 日

改 訂 発 行 月 日

平 成 年 月 日

編 集 兼 発 行 者

機 工 技 術 部

発 行

小 野 谷 機 工 株 式 会 社

無断複写・掲載を禁ず。

ONODANI 小野谷機工株式会社

本社／福井県武生市家久町63-1 ☎(0778)22-2124(代)

営業所／札幌	☎(011)784-1080	新潟	☎(025)281-8251
仙台	☎(022)255-7408	名古屋	☎(052)354-1021
秋田	☎(018)864-7875	大阪	☎(06)6727-8505
東京	☎(03)5970-6011	福岡	☎(092)582-6743

「販売会社又は施工業者の方へのお願い」
この取扱説明書は、お客様に必ず渡してください。